



JAC北九だより

No. 107 (令和7年 第2号)

公益社団法人 日本山岳会 北九州支部

Kitakyushu Section of The Japanese Alpine Club

発行：公益社団法人 日本山岳会北九州支部
 支部長 竹本 正幸
 事務局：北九州市小倉南区志徳 1-1-29-104
 清家 幸三 方
 TEL 自宅 093-963-2160
 携帯 090-8664-4411
 編集人：橋川 潤
 印刷：山口県山口市水の上町 2-25
 内藤製本所

第26回通常総会開催

15806 事務局長 清家幸三

日時 令和7年4月19日(土) 講演会 14時00分～ 総会 15時10分～

場所 毎日西部会館7階第2号会議室



総会出席者の集合写真 (写真 安藤匡)

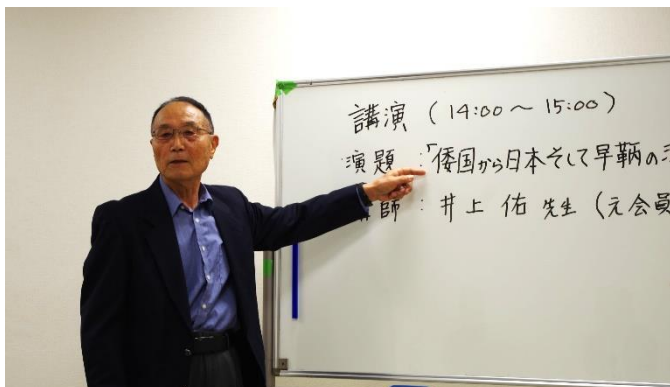
講演会

総会前の講演会は元会員の井上佑氏に「倭国から日本そして早鞆の瀬戸」を演題に大陸との歴史を話していただいた。倭国から日本の誕生の時代へタイムスリップした時間に一時の間、古代人の生き方に思いを巡らせた。又、北部九州と関門海

峡の成り立ちについてのお話しも興味深く聞き入った。

山岳については若いころに深田久弥とのお酒のお付き合いのお話をされた。

知識と話題が増えて時間が短く感じた講演でした。



講演中の井上佑氏 (写真 安藤匡)

総会

最初に4月2日に逝去されました伊藤久次郎顧問のご冥福を祈り、全員で黙禱を捧げた。

その後、横山副支部長の開会の辞で第26回総会が15時10分より開催した。

会員総数52人の内、出席者23人、委任状19人の計42人で総会の成立を事務局より宣言した。

最初の竹本支部長の挨拶では「本年度は会員を増やすことを最重要課題に登山塾、山サロンを含む行事に積極的に参加し、日本山岳会のあるべき姿…みんなの山岳会…を念頭に、山を知り、山登

りを楽しく、自立した登山者になりましょう」と力強い言葉で始まった。

次に竹本支部長が本部定款に沿って議長につき、令和6年度の事業報告、収支決算報告、監査報告が承認され、引き続き、令和7年度の事業計画(案)、収支予算(案)、役員改選及び組織図(案)が審議され、全て可決承認された。質疑応答では行事が中止の場合の適格な報告、安全対策委員会の委員長の明記等、活発な意見が出された。

その後、この3月でルーム担当を引退された丹下ご夫妻に長年の貢献に対し、支部よりお二人に感謝状を送り謝意を伝えた。

最後に榊監事の閉会の辞で終了した。



感謝状贈呈 (写真 竹本加代子)

出席者23人 (通常会員)

園川陽造 日向祥剛 原広美 板倉健一
馬場基介 関口興洋 内藤正美 武永計介
榊俊一 丹下香代子 大内喜代子 竹本正幸
竹本加代子 赤瀬榮吉 縄田正芳 奥田スマ子
町元里香 清家幸三 横山秀司 橋川潤
大山時彦 久保正志 安藤匡

懇親会

総会終了後、場所をコール天に移して17時30分より懇親会を開いた。

本年度は総務委員会を発足し、その委員長に就任した大山時彦氏がこの懇親会の進行を務めた。

緊張した総会とは変わり、懇親会には支部友の安倍功さんと田中孝明さんの2人も参加されて、賑々しく、大いに盛り上がりを見せた。特に久しぶりのオークションは全員が楽しんだ。新体制で進む本年度としては確かな手ごたえを感じた。

最後は園川陽造顧問の万歳三唱で会を締めくくった。

出席者21人

園川陽造 日向祥剛 原広美 板倉健一
馬場基介 関口興洋 武永計介 榊俊一
大内喜代子 竹本正幸 竹本加代子 縄田正芳
三浦利夫 町元里香 清家幸三 横山秀司
大山時彦 安藤匡 安倍功 田中孝明
井上佑(講師)

令和6年12月14日(土)～15日(日)月例山行 ～忘年登山 九重山系～
17443 安藤 匡

コースタイム

14日 涌蓋山登山口(地蔵原) 9:45→涌蓋山 12:16/12:55→みそこぶし山 14:05/14:08→八丁原登山口 15:10

15日 駐車地点 8:50→小にぎり山 9:24/9:33→おにぎり山 9:41/9:50→駐車地点 10:18→(車移動)→牧ノ戸峠 10:50→黒岩山 11:27/11:35→上泉水山 12:20/12:34→泉水山 13:05/13:15→長者原登山口 13:55

涌蓋山は2021年に登った由布岳から、端正な風貌を拝んで以来、登りたい山リストに入っていた山でした。

地蔵原登山口からのコースはマイナーで、他の登山者に邪魔されることなく青空に映える霧氷を堪能しつつ山頂へ。無事山頂で下山口まで車両を回送して頂いたドライバーさん部隊と合流できたことで安堵しました。

涌蓋山からは眼下にくじゅう連山が広がり、八丁原までのコースが見通せる最高の眺望。なだら



おにぎり山 (写真 折野道法)

かで見晴らしの良い草原の尾根の縦走で、くじゅう連山本体とは違った山歩きが楽しめました。

同日の宿の温泉旅館は忘年登山らしく、山小屋にはないお風呂と美味しい食事、年齢を重ねてこうしたプチ贅沢が嬉しく思えたことも記しておきます。

二日目はくじゅう青少年の家の近くから出発。おにぎり山を楽しんで一度下山の後、牧ノ戸峠へ車で移動。前日より更にくじゅうの峰々が迫ったパノラマの景色を楽しみながら、黒岩山・上泉水・泉水のピークを踏んでトラブルなく下山ができました。

二日間、天気にも恵まれ、皆様のご協力も頂いて楽しい記憶に残る山行となりましたことに、感謝申し上げます。



黒岩山 (写真 折野道法)

参加者 12人：竹本正幸 竹本加代子 縄手修 町元里香 藤原玲子 太郎良嘉親 折野道法 橋川潤
大山時彦 安藤匡 水落ゆかり 安倍功

令和6年12月15日(日) 忘年のつどい

～感想・忘年のつどい初参加～

17283 将口 晋司

2024年12月、「コール天」で催された「忘年の集い」に参加させて頂きました。勤務先ではベテラン社員の年齢ですが、山岳会では新米のため少し早めに到着。

先輩方は皆さん優しく気さくな方が多く、初めての参加でしたが気兼ねすることなくお酒を頂きました。2025年は子育て、仕事と多忙の予感ですが、少しでも近くでも低くても登山に励むよう活動したいと考えています。2025年もよろしくお願い申し上げます。

17366 久保 正志

支部友として2年前に入会、そして2024年10月に山岳会に入会させて頂き、今回初めて忘年の集いに参加しました。支部友であった期間、あちこちの山行に参加した際にも感じていたことですが、今回の集いにおいても、山岳会員の皆様の山に対する熱に、まだまだ未熟だなーと痛感してしまいました。体力は減少するばかりですので、少しでも技術を習得して皆様の足手纏いにならないようになりたいと思っています。よろしくお願いします。

北九545 安倍 功

北九州支部の忘年会に参加させて頂き、誠にありがとうございました。会員の方々の写真を

見ながらの色々な体験談は興味深く、時間が経つのも忘れるぐらい楽しかったです。いつかは私も必ずトライするという気持ちが沸々と湧いてきました。忘年会最後の坊がつる賛歌は初めて歌いましたが、肩を組んで歌って、良い思い出になりました。登山に関しては素人ですが、これから登山技術を学びたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

北九546 大谷 陽子

今回、新入会員として忘年会に初参加させて頂きました。ほとんどの方が初対面しかも女性一人ということで、少し緊張して臨みましたが終始和やかな雰囲気の中、諸先輩方の興味深い山歴や体験談をお聞きしたり、アドバイスをいただいて次第に緊張もほぐれ、瞬く間に楽しい時間が過ぎて行きました。

クイズ大会も大爆笑で、私には難問過ぎてあまり正解できなかったにも拘らず、ステキな賞品も頂きました。幹事さんのご配慮に感謝いたします。

大変有意義なひとときをありがとうございました。今後もできる限り山行等に参加し、交流させて頂いただけると嬉しいです。

参加者17人：園川陽造 日向祥剛 板倉健一 馬場基介 関口興洋 武永計介 竹本正幸 縄田正芳
三浦利夫 清家幸三 横山秀司 将口晋司 堀内博史 久保正志 安倍功 大谷陽子 田中孝明



追悼

伊藤久次郎元支部長を偲んで

13643 関口 興洋

令和7年4月6日
(日)、午前9時半ごろ、伊藤さんの奥様から、伊藤さんが4月2日にご自宅で他界され葬儀も家族葬で執り行ったとのことのお知らせを頂いた。あまりにも突然なニュースで気が動転し、お悔やみの言葉に窮した。

昨年11月以来、入院生活が長引き体力が極度に衰え歩行困難になったとのことと心配していたが、昨今のコロナ、インフルエンザの影響下でお見舞いに行きたくても全く叶わず、最後のお別れも出来ず、誠に残念なことで痛恨の極みであります。

伊藤さんとは、北九州支部創立2年後(2002年9月)の総会で共に役員に選任され、それ以来、伊藤さんは広報担当として2002年10月発行の支部報「北九だより」8号から2012年7月の61号まで10年間、編集人として活躍された。2011年4月、支部長に就任、2016年5月、体調悪化により支部長を退任された。それまでの長い間、支部運営に情熱を燃やし注力してきました。全国の各支部が主管する全国支部懇談会、他支部の周年記念行事、上高地や高千穂のウェストン祭などの催事、さらに年次晩餐会など機会あるごとに一緒に出かけましたが、伊藤さんはいつもこまめにビデオ撮影を行い、その時々の貴重な記録を編集しDVDに収録した。その一部は本部の資料映像委員会や各支部の関係者にも配布された。外部の行事だけでなく、支部の行事にも積極的に参加し、貴重な映像を残されています。例えば園川永年会員が講師を務めた皿倉山での「山岳技術専科」の内容を的確にカメラに収めた成果がブルーレイビデオに収録され、シリーズとして12巻、制作された。これらのビデオは支部のルームに保管されていますので、今後、新人研修の場で頻繁に活用して頂きたい。それが伊藤さんに対する一番の供養です。

その他、伊藤さんのもう一つの特技は年季の入った木版画制作です。自称、棟方志功の孫弟子と称していましたが、現職(警察官)のころから精進し、その成果は九重の法華院温泉山荘の食堂に掲げられた「坊がつる讃歌」の版画を見れば一目瞭然である。

2年前には田川美術館の公募展で展示された作品に対し、福岡県知事賞が授与されたと聞いています。支部長退任後、ルームで版画教室を主宰し、支部の希望者や一般の希望者を相手に精魂を傾け指導していた。数年前から、受講者の腕もあがり毎年、外部の喫茶画廊を借りて、展示会を開くまでに成長したことは、公益社団法人の文化活動としても評価される価値があると思います。



九重法華院温泉山荘 1996(H8)年

2005年の日本山岳会創立100周年の記念事業として発案された、北は北海道の宗谷岬から南は鹿児島県の佐多岬までの「中央分水嶺踏査」が2004年から開始された。北九州支部の担当は山口県と島根県境の仏峠より平尾台の吹上峠まで220kmである。2004年4月11日、仏峠をスタートし2005年5月8日、吹上峠で完結した。踏査に要したネットの日数は60日に及んだ。北九州支部が担当した分水嶺は大部分、山口県に属しており北九州支部にとってほぼ未知の世界であった。踏査の貴重な記録は「踏みあと」に収められているが、編集長として複雑な編集作業を統括したのが伊藤さん(当時、副支部長)であった。改めて、伊藤さんのご苦勞に対し感謝とお礼を申し上げます。

伊藤さんの役員在任中、もっとも重大で悲しい出来事が韓国で発生した。支部創立10周年の記念事業として企画されたのが、韓国の智異山(1915m)登山である。2010年5月15日、支部メンバー9人、ガイド4人(日本人1人、韓

国人 3 人）で出発。午前 10 時 10 分ごろ、標高 1300m 付近を登山中、伊藤さんと関口との間にいた室津健次さんが無言のまま、突然、右側に倒れたのである。韓国のガイドが直ちに現地警察に通報し警察のヘリで晋州市の慶尚大学病院へ搬送されたが帰らぬ人となった。

今回の事故は、崖から転落したとかであれば因果関係が判然としているが、通常の登山道で発生した死亡事故であり、因果関係が判然としない。これが問題点であった。大学病院の医師も死因の確認が出来ず、病院で待機していた警察官は不審な死亡事故として、本人と一番近い位置にいた伊藤、関口の二人が警察の事情聴取を受けることになった。韓国のガイド兼通訳を介しての尋問であるから時間がかかるのはやむを得ない。当方より室津さんは元来、心臓が悪いとのことであり、今回の死亡は心臓マヒによるとしか考えられないと説明したが納得しない。警察の尋問は同じ内容で 3 回ほど繰り返し、矛盾点がないかチェックする。こちらと同じように返事をするが空腹も加わって、早く解放して欲しいという気持ちが強くなる。

ここで伊藤さんの職歴が輝いてくる。日本での対応も同じようなものであるから、決して短気を起こしてはダメと助言を受けた。3 時間ほどの尋問が終わると、室津さんとのご対面となる。一人しか入室できないので伊藤さんが代表として対面場に向かう。警察官が室津さんの着衣をナイフで切り裂くと、ニトログリセリンの入ったロケットが現れた。これで我々の説明がようやく受け入れられ、無事解放された。宿へ戻ったのは午後 8 時を過ぎていた。伊藤さん、ご指導ありがとうございました。

お酒が大好きだった久さんの洒落を引用し、お別れのご挨拶といたします。

「秋の夜、酒は静に飲むべかりけり。僕酔」

伊藤Q（享年 85 歳）

合 掌

令和 6 年 11 月 30 日（土） 11 月月例山行

～津波戸山 絶景の展望とお地蔵さんに癒されながらの岩峰歩き！！～

16601 藤原 玲子

コースタイム：津波戸山登山口駐車場 8:50→津波戸登山口 9:05→津波戸山山頂 11:35→ビューポイント（昼食）11:38/12:05→＜弘法大師像＞→東尾根展望所→津波戸登山口 13:50→津波戸登山口駐車場 14:05

行動時間：5 時間 15 分 5. 2 ㎞

津波戸山は標高 529 ㍎、集塊岩が侵食された奇岩絶峰が屹立して出来た山で、登山道は岩場や鎖場が多く、まさにアスレチックな山なので岩場の好きな方はお勧めです。

今回は、弘法大師八十八ヶ所霊場巡りコースで、お地蔵さんと岩場、絶景の展望を楽しみます。

令和 6 年 11 月 30 日（土）8 時 45 分、津波戸駐車場を出発！ 小川に沿って集落の細い道を通り「海蔵寺跡」を見て先に進むと西尾根の取り付き地点があり、ここから厳しい楽しい岩尾根歩きと八十八ヶ所地蔵探しの始まりです。足場に注意し岩を登ると、展望が良い所に「左京の橋」があり、国東は、他にも修験者が修行で渡る「天念寺」と「中山仙境」のスリルな無明橋を思い出します。

一番の難所は 3 ㍎の岩場で、鎖を持ち直下降で足場が見えない所と岩の隙間を潜り抜けて大岩を

降りる「針の耳」です。ほっとして各所にあるお地蔵さんに癒され心が和みます。



津波戸山 （写真 藤原玲子）

谷に出てガレ場で滑り易い坂を登り詰めると山頂に近い尾根に出ますが、展望が無いので5分程先の展望台で昼食。

下山は登りと同じ長いガレ場の急斜面を降り、「弘法大師像」を見て今度は東尾根の急坂を登ると由布岳、鶴見山が見え景色も素晴らしくお地藏さんも気持ち良さそうに同じ景色を見えています。八十八番のお地藏さんを見つけ尾根歩きが終了です。

最後に急坂を長いロープで一気に降り駐車場に向かいました。

八十八体のお地藏さんを探し全部は見つかりませんでした。休憩を含め5時間弱のゆっくりの山行で楽しかったです。岩場と鎖が多くで危険な所もありましたが、怪我も無く安全に下山出来たのも皆さんのお陰です。有難うございました。

参加者8人：竹本加代子 縄手修 町元里香 中畑智子 藤原玲子(CL) 大山時彦 太郎良嘉親 久保正志

令和7年1月19日(日) 1月月例山行

～干支登山 「蛇焼山・黒髪山」～

17022 折野 道法

コースタイム：小倉文化記念公園集合 6:40→小倉東 IC→古賀 SA→基山 SA→波佐見有田 IC →有田ダム 駐車場 有田ダム駐車場 8:44→黒髪山登山口 9:16→蛇焼山 10:15→黒髪山(昼食) 10:36→西光密寺 11:29→前黒髪 12:05→英山 12:26→英岩 12:44→有田ダム駐車場 13:59→(温泉に向かう：有田町温泉)

・距離 7.3 ㎞ 累積標高 666 ㍎ ・山行時間 5 時間 20 分(休憩 55 分)

1月の月例山行に新年干支登山で蛇年に因んで佐賀の名峰・蛇焼山(505 ㍎)～黒髪山(516 ㍎)4座を縦走して、有田温泉でほっこりする新春の心地良さ一日でした。

お天気は気圧の谷間で安定せず少し心配されましたが、CL 赤瀬さんの人徳のおかげで最高のお天気にも恵まれ、軽アイゼンも使うことなく雪のない干支登山になりました。

今日のルートは、蛇年に因んで有田ダム駐車場

100 ㍎～黒髪山登山口 132 ㍎から登山を開始して1座目は干支の蛇焼山 505 ㍎～2座目に佐賀の名峰・黒髪山 516 ㍎で昼食～西光密寺 414 ㍎で休憩し～3座目の本城岳(前黒髪) 482 ㍎～4座目の英山 440 ㍎～英岩 356 ㍎をピストンし、有田ダム駐車場に下山の周回ルートで新春の稜線4座を縦走して来ました。尚、今回から特定小電力のトランシーバーを活用して更なる安全登山に活用しました。



蛇焼山 (写真 折野道法)



黒髪山 (写真 折野道法)

参加者8人：竹本正幸 竹本加代子 縄手修 赤瀬 榮吉(CL) 町元里香 太郎良嘉親 橋川潤 折野道法

令和7年2月15日(土) 第4回登山入門講座
～深入山(1152 ㍿)・広島県～

14852 竹本 正幸

参加者8人は、2台の車に分乗して小倉北区の文化記念公園を6時に出発する。

途中1回の休憩にて戸河内 IC で高速を下りて深入山東登山口いこいの村駐車場に9時30分に到着。装備を整えて9時45分に頂上目指して出発する。

途中でそれぞれがアイゼンやスノーシューを装着して締まった雪の上を快適に進む。

1時間15分で頂上に着く。頂上は風が強く、雪は少なかった。

早速、5人用テントとツェルトの設営訓練。強風の中でのテント設営訓練は、飛ばされないように注意する。テントやツェルトの中は天国で暖かい。ラーメンとコーヒーの昼食タイムは、山の話に花が咲く。昼食後、テント、ツェルトを撤収して下山にかかる。下りはそれぞれが自分でルートを選び尻セード等で楽しく滑りながら駐車場まで降りる。曇り空になったが何とかもってくれた。



冬のテント設営訓練 (写真 竹本加代子)

今回の山行は、アイゼンやワカンを装着しての雪山歩行訓練とテント、ツェルトを張る練習、冬山装備について学習した。

参加者8人：竹本正幸 竹本加代子 縄手修 町元里香 太郎良嘉親 大山時彦 田中孝明 大谷陽子

令和7年3月1日(土)～2日(日) 3月月例山行
～久しぶりに会えた素晴らしい大山ブルー～

15710 町元 里香

コースタイム：夏山登山口 9:30→六合目避難小屋 11:35→頂上避難小屋 12:15→伯耆大山弥山 12:20→頂上小屋(昼食) 13:00→夏山登山口に下山 15:15

伯耆大山は冬山の醍醐味である冬期テント泊ができなくなってしまい、ここ数年は大山での冬期登山を計画していなかったが、久しぶりに青い空と真っ白な稜線に会いたいという思いに駆り立てられ、テント泊を諦めて民宿泊で行うことにした。いつものように1週間前から天気図と睨めっこの日々が続いた。

当初の計画は1日目に雪山研修、2日目に登頂だったが、日曜日は全国的に雨予報で土曜日は午後からは崩れそうだが何とか登れそうな予報だったので、1日目に登頂することにした。

午前3時半に小倉南区の文化記念公園駐車場に集合して出発。大山ブルーに会いたいというワクワクで眠気も吹っ飛ぶ。午前9時に大山駐車場に到着し、装備を整えて夏山登山口から山頂を目指した。冬山なのにとにかく暑い。半袖 T シャツ姿



ラストスパート (写真 安藤匡)

の登山者もいる。雪崩に気を付けながら、気を引き締めて登る。6 合目避難小屋付近のトレースが先月来た時とは全く変わっていた（先月は頂上小屋で一泊した）。1 週間前の寒波で変わってしまったのかもしれない。もし悪天候で視界不良だったら下山時の進路を間違えてしまうかもしれないと恐怖を感じた。

6 合目小屋から上は真っ青の空と真っ白な稜線が続く。素晴らしい大山ブルー。ここ数年 6 合目から上は吹雪くことが多く、久しぶりに会えた景色に感動した。素晴らし過ぎる。

下山後は温泉で疲れを癒し、夕食後は皆と山の話で楽しい時を過ごした。

翌日は予報どおり朝からの雨。観光をして帰路に着く事で皆の意見が一致した。水木しげるロードで鬼太郎や目玉おやじ、妖怪たちと会って童心に戻り、楽しい時間を過ごした。足立美術館では雨に濡れる庭園、横山大観の軌跡を鑑賞して心が豊かになった。

少し贅沢だけれど有意義な 2 日間でした。次回も山の仲間と楽しい時間を過ごすことができれば幸いです。皆さんいつも有難うございます。



大山山頂 （写真 竹本加代子）

参加者 6 人：竹本正幸（CL） 竹本加代子 縄手修 町元里香 太郎良嘉親 安藤匡（SL）

令和 6 年 12 月 7 日（土） 令和 6 年度年次晩餐会を開催
＜記念講演会には天皇陛下がご臨席＞

東京・新宿の帝王プラザホテルにて、令和 6 年度の年次晩餐会が開催された。

記念講演会には天皇陛下がご臨席くださり、創立 120 周年事業「グレート・ヒマラヤ・トラバース」の報告や、秩父宮記念山岳賞を受賞された京都大学名誉教授・酒井治孝氏や信州大学名誉教授・中村浩志氏による講演などが行われた。

参加者 3 人：日向祥剛 関口興洋 清家幸三

令和 7 年 1 月 11 日（土） ポレポレ山行 「戸畑三社参り」
14554 丹下 香代子

今回は参加者 9 人で戸畑駅集合。9 時出発。まずは港に近い「恵比寿神社」にて参拝です。若戸大橋の下をくぐり海岸線を歩く。昨日の雪はウソのようでお天気の中をのんびりゆっくり、これぞ「ポレポレ」。途中日向さんの会社があり立ち寄り小休止をする。コーヒータイムでホッと一息。

次は「飛幡八幡宮」こちらでは宮司にお祓いを受け、健康と北九州支部の安全祈願を願って心新たに出発です。戸畑と言えば「祇園大山笠」。あの光のピラミットに「ヨイトサ・ヨイトサ」の掛け声が聞こえてきます。金毘羅山の山頂を目指して歩く。天籟寺川を見ながら行く。思ったより美しい川だなあと思って見ていると後ろの方からカ



旧松本邸 (写真 縄田正芳)

ワセミを見たとき「エッ、あのカワセミを」と。残念！ 私は見られなかった「空飛ぶカワセミ」です。

急坂に入ると金毘羅山登山口。これより頑張って登ることになり、やっとの思いで山頂着 12:40「金毘羅神宮」参拝。集合写真を撮る。本当に皆さんお疲れさまでした。

下山後、昼食の予定。ところが食堂はいっぱいなのでコーヒーショップで昼食をとる。疲れた身体にコーヒーが美味しくてホッと一息のんびりです。昼食後は旧松本邸を拝見しながら歩く。

戸畑は美しい町で見るところは沢山あるようです。「石碑めぐり」もいいかな・・・と。いい日一日ありがとうございました。皆さんお疲れさまでした。今年も頑張らなくちゃ！！

参加者9人：園川陽造 日向祥剛 原 広美 関口興洋 板倉健一 丹下洽 丹下香代子 縄田正芳
太郎良嘉親

< ちょっといい話 >

元旦の風師山でのこと ミッションスクールの留学生3人の高校生が登山者に出している豚汁を食べたその中の1人がいった言葉「日本ってやさしい国ですね」「こんなに美味しいものを頂き、また、お代わりまで頂き本当に心も身体も温かになりました」

その言葉に私たちも「心も身体もポッカポカ」の元旦でした

14554 丹下香代子

令和7年2月13日(木) ポレポレ山行

～ 剣立山・城山(堀越城址)・笠岩～

16602 太郎良 嘉親

今回は、周回しても短い距離なのでモノレール企救丘、JR 志井公園駅にて集合し登山口まで歩きました。剣立山は、小倉南区の長野緑地の西側にあります山頂322mの山です。昔、物見櫓があ

ったそうです。今日は、とても天気が良くて見晴らしがとても良かったです。小倉の街並みや足立山、下関、曾根の干潟などが見えます。話では大分の姫島も見えるそうです。途中とても風が冷た



剣立山 (写真 縄田正芳)



堀越城址 (写真 縄田正芳)

くて寒かったのですが、山頂は風がなく暖かでした。

次の堀越城址(城山)は、標高355㍎で近くにある長野城趾の支城であったそうです。やや広めの空き地がありますが特にこれといった史跡はわからずでした。そこでお昼です。

次は、笠岩です。昔は長野村と横代村の境界石

として使用されていたそうです。変わった形の大岩です。花崗岩が隆起して山となり、長い年月をかけてそれが欠け、大きな岩の塊となって地表に残されたのが岩海というもののだそうですが、それらがこのあたりに見られるとの事です。手元の温度計を見ると2〜3度で寒かったですが楽しい山行でした。

行動時間：5時間半、約7㍎

参加者8人：原広美 丹下洽 丹下香代子 縄田正芳 奥田スマ子 中畑智子 横山秀司 太郎良嘉親

令和7年3月29日(土) ポレポレ山行 ～バスハイク 早春の花鑑賞～
 <六日市カタクリの里から徳佐八幡宮(シダレザクラ)へ>

15138 縄田 正芳

2月から3月にかけての寒波、大雪そして夏日があるなど激しい気候変化の中ではたしてカタクリの花、シダレザクラはタイミング良く咲いているだろうかと心配な日々でした。

バスハイク当日3月29日は幸いにして前日からの雨も止み陽も差し始めほっとしました。

小倉を7時過ぎに出発、途中メンバーを拾いながら一路中国道を六日市へ向かいました。

高速沿いの山々や村々はもう春の装い、薄いピンクのヤマザクラやコブシ、ウメの花などが見られました。カタクリの里に着いたのは10時過ぎ。陽もだいぶ高くなり穏やかに降りそそぐようになると山の斜面一面にあるカタクリの花もいっせいに開いてきたような気がしてきました。薄紫色の花弁をせいっぱい反り返させ風に揺られて咲く姿は可憐そのものでした。今年の開花は少々遅かったせいか見学客も居ずのんびりとも心いくまで早春の花を楽しむことができました。

またこの山あいの六日市の里はあの世界的に有名なファッションデザイナー森英恵の出生地とのことでした。近くにある生家跡がフラワーガーデンになっているとのことさっそく寄ってみました。建物はなくチューリップなどが植えられた公園として整備されていました。それにしてもこのようなところより出て世界に羽ばたいたとは感謝の思いでした。

ここより徳佐八幡宮への道は清流高津川沿いを行きのどかな山村風景を見ながら山越えをして津和野を経由しての道でした。13時頃徳佐八幡宮着へ。参道の長さは370㍎ほど、両側には360本ものシダレザクラがあり江戸期から200年にわたって補植や新植を繰り返して維持してきたものだそうです。花は五分咲きのものからまだ蕾



参加者集合写真(写真 縄田正芳)



徳佐八幡宮のシダレザクラ(写真 縄田正芳)

の状態のままでしたが、参道に覆いかぶさるように枝を垂らして咲くさまはたいへん見事なものでした。

のんびりと参道を散策しました。続いて十種ヶ峰登山口にある大きなシダレザクラを見に行きましたが、こちらは残念ながらすべて蕾の状態でした。山里の桜の開花はまだ先のようです。帰り道は順調で9号線を南下して山口、門司を経由して

予定通り17時半ころに無事小倉に到着しました。
十二分に花と春の景色を楽しむことができたバス
スハイクでした。運転手さん、早朝より長距離の

運転お疲れさまでした。またありがとうございました。

参加者10人：日向祥剛 原広美 板倉健一 関口興洋 丹下洽 丹下香代子 縄田正芳 今田智恵
太郎良嘉親 堀内博史

令和6年11月28日(木)～12月5日(木) 個人山行
～ベトナム最高峰ファンシーパン3143 ㍻登頂報告～
＜インドシナの屋根 ㍻ファンシーパン登頂と世界遺産ハロン湾クルーズの旅＞
17022 折野 道法

1 山行内容

コロナで暫く行けなかったインドシナの屋根、
ベトナム最高峰のファンシーパン(3143 ㍻)の
遠征旅行に行って来ました。

ファンシーパンの標高は3143 ㍻で日本百高
山#6 悪沢岳/荒川岳3141 ㍻より2 ㍻高い山で、
ロープウェイで山頂直下まで行けます。残り600
段の階段を登れば登頂も出来ませんがRW 運行時間
もありご来光には間に合いません。

今回は現地の黒モン族のガイドと1泊2日の現
地ツアーに参加して、無事にご来光に合わせて登
頂して来ました。

ハノイにはJICAのホストのご縁で20年来の
友 Thien 氏との再会と世界遺産のハロン湾クルー
ズ旅にも行って、山友3人で一緒に楽しい時を過
ごせました。

国内の山岳旅行会社の海外登山ツアーもあり
ますが、今回は時期も乾季の12月に福岡から
LCCの直行便で飛んで、ホテル&現地ツアーと
WIFIもNET予約の格安個人旅行です。終始お天気
にも恵まれインドシナの屋根で最高の朝陽を拝む
ことが出来ました。

2 移動とコースタイム

day1. 11/28(木) 山友3人で20数年ぶりに
ハノイに渡る。現地の友人 Thien 氏との再会が
楽しみ。

- ・福岡空港 08:55 発 VJ959 →12:25 ハノ
イ・ノイバイ空港着
- ・ハノイ市内に移動し20年来の友人 Thien 氏と
再会する、ハノイ泊

day2. 11/29(金) 20 数年ぶりのハノイは物
価も高騰し、とても奇麗になって自動車が激増
していた。でも道路横断のスリルは変わらず。

鉄道は旧式の寝台
車で、高速バスよ
りも遅いノスタル
ジックな特急列車
でした。

- ・ハノイ市内観光→
22:00 ハノイ/レ・
ドゥアン駅から夜
行列車/サパリ急行
列車で北部国境の
街ラオカイへ移動
する。



day3. 11/30(土) 20 年来の友人 Thien さんと
黒モン族のガイド
再会 (写真 折野道法)

のスス姐さんとポ
ーターのサオさん、ベネズエラ人の陽気なホセ
と日本人3人でトレッキングを開始する。言葉
はみんな慣れない英語とジェスチャーと笑顔で
以心伝心、和気あいあいでした。

- ・ラオカイ駅着 6:00→山岳民族の町サパへ移動
8:30、ガイドと合流シトラムトン～オー・クイ
ホー峠を抜けチャムトン峠 1950 ㍻からトレッ
キング開始 9:24→ホアンリエンの峰々を眺め第
1 キャンプ 2250 ㍻でガイドお手製のバインミ
ーの昼食と長めの休憩→第2 キャンプ 2800 ㍻
到着 15:21。黒モン族のガイド達の小屋飯で夕
食。トタン屋根の山小屋泊(外気温マイナス
2℃、マットとシュラフは借りました。もちろん
電気無し。)
- ・活動時間5時間57分、休憩時間1時間57分
- ・距離6.8 ㍻、上り/下り1056 / 228 ㍻

day4. 12/1(日) 朝駆けで小屋を出発しファンシーパン山頂 3,143 ㍎でご来光を望む。



ファンシーパン山頂ご来光 (写真 折野道法)

- ・03:30 起床し軽い朝食を取り、第2キャンプ 2800 ㍎を出発 04:22→ベトナム最高峰でホアンリエン山脈のランドマークであるファンシーパン 3143 ㍎に登頂し06:09、ご来光を望む。下山開始 06:45、タムトアタンマウ寺院とドゥクタンチャン寺院、ビックヴァン禅寺、阿弥陀如来、観世音菩薩像を拝みながら山頂駅より下山する→第2キャンプ 2800 ㍎に到着し朝食→第1キャンプ 2250 ㍎に到着し昼食→トラムトンのチャムトン峠 1950 ㍎に到着し 14:05 トレッキングは終了しました。
- ・活動時間 9 時間 42 分、休憩時間 2 時間 5 分
- ・距離 10.7 ㍎、上り/下り 706/1561 ㍎
- ・チャムトン峠から移動→17:00 サパ→21:30 ラオカイ駅から趣のある夜行列車/サパリ急行列車で首都ハノイに向け出発する

day5. 12/2(月) ハノイに夜行列車で戻って、そのまま世界遺産のチャンアン渓谷を巡ります。



世界遺産チャンアン渓谷の足漕ぎボートでのんびり遊覧
(写真 折野道法)

ハノイ→古都ホアル遺跡に世界遺産チャンアン渓谷→ハノイ泊

- ・ラオカイ→ハノイ/レ・ドゥアン駅到着 05:25 カフェで朝食→07:30 現地バスツアーで古都ホアル遺跡&世界遺産チャンアン渓谷を巡る。名物の足漕ぎボートツアーにサイクリング、史跡巡り、岩山登り等々満喫しハノイに帰る→ハノイ泊

day6. 12/3(火) ハノイから世界遺産の海の桂林ハロン湾クルーズを巡ります。

- ・ハノイ 09:00 を出発、現地バスツアーで 12:00 ハイフォン湾到着→世界遺産ハロン湾クルーズに出発、船中 1 泊の船旅：STAR LIGHT CRUISE で定番アクティビティのスノット洞窟の鍾乳洞巡りにティートップ島の TI TÓP 登りと夕日に沈むビーチに佇み、船に戻って春巻きクッキングに食後は太極拳とカンフー教室に魚釣りを楽しみ満載でした。



世界遺産ハロン湾クルーズで鍾乳洞ツアー (写真 折野道法)

day7. 12/4(水) ハロン湾クルーズからハノイ・ノイバイ空港に移動し、深夜便で福岡に帰国します

- ・世界遺産ハロン湾クルーズで太極拳やシーカヤックを楽しみ→15:00 ハノイに戻りハノイ・ノイバイ空港に向かう

day8. 12/5(木) 後ろ髪を引かれながら帰国の途に就く

- ・ハノイ・ノイバイ空港 02:05 発 VJ958→07:55 福岡空港に到着

令和7年1月5日(日) 個人山行

～西表島 古見岳登山～

17031 橋川 潤

コースタイム：ユチン橋登山口 9:50→ユツン滝 11:30/11:40→山頂 13:05/13:10→ユツン滝
14:30/14:40→ユチン橋登山口 16:10

今年の初登山は沖縄西表島の最高峰、古見岳(470 ㍎)に行ってきた。沖縄県の山旅はこれで3年連続。低山ばかりではあるが、本土にはない自然と触れ合うことができいつも心をときめさせてくれる。

事前の情報だと古見岳の登山路は溪流沿いで渡渉も多く、目印や踏み跡に頼るルートファインディング力が試されるらしい。そのため現地ツアーに問い合わせたが、石垣島からの日帰りの客ということで断られた。それなら個人で行くしかない。石垣島発の第1便の船で西表島に渡った。

道端の広場にレンタカーを止めて一歩山中に足を踏み入ると、オオタニワタリなどの多様なシダや九州では見られない蔓性植物、草本類がゾクゾク現れる。そして頭上には亜熱帯性の樹木やヒカゲヘゴが被い茂り、福岡から遠くに来たことを実感した。水深30㍎㍎くらいの渡渉が2～3箇所があったが、うまく岩を跳び濡れずに渡ることができた。雨が多い時期は水位が高くなるので、コースのとり方も違ってくるのだろう。そのため幾通りもある目印の選択が難しい。

途中で岩盤の広い谷にでた。滑らないよう苔のないところを選んで歩く。ここは水流と石によっ

てできる大小の甌穴がいくつもある特異な景観だ。

1時間半も歩くとやがてユツン滝に到着した。幅広い滝で3～4段になってしぶきをあげながら豪快に流れ落ちてくる。滝を高巻きしてさらに谷を小1時間も詰めると初めての道標があった。左に折れ急な斜面を登ると鞍部に着き、左に曲がるとすぐに山頂だ。一帯は背の低いリュウキュウチクで覆われ、天気も良かったため展望はとても素晴らしかった。亜熱帯林のモコモコとした樹冠の先には海がすぐそこに見られた。ゆっくりしたかったけれども、帰りの船の時刻が気になるので休憩もそこそこに山頂を後にした。

西表島が世界自然遺産に指定されて約4年。貴重な自然を守るため、2025年3月から「特定自然観光資源」の区域に入るには地元竹富町長の承認を受け、さらにガイド同伴又は事前の講習が義務づけられた。この古見岳ではユツン滝より上部がその区域で、1日30人の人数制限となっている。今回の登山は自由に入れる最後の機会であった。九州では見られない亜熱帯の山の息づかいを、足元や頭上を見、耳をすまし、鼻を利かせワクワクしながらゆっくりと味わうことができ大満足な山旅だった。



左から 砂岩の川床にできた大小の甌穴 南国の植物トクサラン ユツンの滝 ギランイヌビワの幹生果(写真 橋川潤)



九重すがもり小屋の土産

令和7年3月14日(金)～17日(月) 個人山行
 ～ありえへんハプニングとハルラサン登山
 14853 竹本 加代子

コースタイム

3/14(金) 福岡国際空港→釜山国際空港 7:30/9:25→プサン空港 10:25/14:55→済州島空港 15:55
 →ホテル 17:00

3/15(土) テーマーパーク(昔の生活) 9:00/10:00→城邑民俗村 10:30/11:30→日出パーク
 11:40/12:40→<城山日出峰>→東門市場 13:00/14:30→<スーパー>ホテル 16:30

3/16(日) ホテル 7:00→オリモコ登山口 7:35/7:50→1100 ㉞ 8:28→1300 ㉞ 9:05→1400 ㉞
 9:31→サンジュビの丘 9:47→1500 ㉞ 10:20<下山開始>登山口ゲート 12:05/12:15→バス停
 12:30<タクシー交渉>12:50→ホテル 13:15

行動時間 4:30 距離 5, 6 ㉞

韓国は近くてリーズナブルな山旅ができる。韓国での登山は考えたことがなかった。3000 ㉞級の山はないが特徴的な山が多い。済州島のハルラサンは韓国で一番高い山である。

今回は2度目の韓国である。山口県の HC 山歩の武永さん(北九支部の会員)の企画で参加する。参加者も組織のメンバーだけではなく信州の4人も参加。武永さんの人脈もさることながら 40 代 50 代の若者? 達と同行する。14日は釜山経由で済州島に渡る。済州島は火山島で島の中心に1950 ㉞のハルラサンが裾野を広げて鎮座している。岩質は玄武岩だそうだ。

冬になると地形的要因により済州市は東京と同じくらいの寒さだが風が強く体感温度は低い。南部は温暖で韓国唯一のミカンの産地であり、それに関連した土産物が多い。守り神のトルハルパンも同様に多い。グルメは色々でありこの日は豚の骨付き肉がゴロゴロした「カムジャタン」で安価である。

15日はハルラサン登山の予定であったが入山禁止と災害情報アラートが出ていて予定を変更し、観光をする。テーマーパーク(韓国の昔の生活)や民俗村、日出ランド、城山日出峰、東門市場など雨の中なのでゆっくりとはいかなかったが色々な景色や文化、歴史に接することができた。城邑民俗村の爆笑おばさんは村の歴史や文化を面白可笑しく話されるが、商売上手で最後に決して安くはない土産を買わされてしまった。体に良いと言われてプラセンダ・冬虫夏草・五味茶等である。

城山日出峰は強風で頂上には行けず(禁止)散策路のみとなった。寒いし強風だし雨具のフードを抑えて散策。東門市場はぐるり

と回ったのみの8時間の観光であった。夕食は「サムギョクサル」三枚肉の焼き肉である。

16日はこの旅メインのハルラサン登山。しかし、韓国のハワイと言われる済州島に雪がふる。寒い風はない。登山許可のいるハルラサン山頂へ行く二つのコースは入山禁止。三つの許可のいない南壁へ向かうコースの一つオリモココースを選択。武永さんが保険として準備されていたコースだ。

ホテルから970 ㉞の登山口へ。思いがけない積雪だ。雪山登山の服装に身支度して出発。ゲート前でノーアイゼンを注意されたが登山道は整備されているので歩き易い。途中管理事務所の方だろうか又もや注意を受けた。追い抜いていく若い登山者は簡易のレインコートにチェーンアイゼンを付けていた。やはりアイゼンは必要でした。次第に緩やかな傾斜になり雪は降り滑りやすい。木道



オリモココース登山ゲート



積雪の中の登山(写真 竹本加代子)



ハルラサン 1500 ㈬ (写真 竹本加代子)

になるとさらに滑りやすく進まず 1500 ㈬付近で撤退となる。もう少し進むと 1700 ㈬のウィッセオルム待機所があり、晴れていればハルラサン山頂も眺められ良い場所らしい。この天気であれば無理だと諦めて下山開始。私はおっかなびっくりの歩きだ。やたら滑りそうになる。なんとか12

時過ぎには登山ロゲートに到着。雪降りしきる中少し歩いてバス乗り場に向かう。

ここから、ありえへんハプニングの始まりだ。タクシーのドライバーから声がかかる。50000Wでどうだと言う。詳しいことは分からないが交渉の駆け引きが少し聞こえてきた。来る時は1台16000Wの2台だったと伝えたと45000Wに落ち着いたようだ。さて、これから5人乗りのタクシーに8人が乗ることになる。トランクに2人押し込まれ、後部座席に重なるように4人、ドライバーの横の席にお姫さま抱っこで2人。もしかしたら、連れまわされるのでは、ぼったくりされるのでは、ポリスに摘発されるのではとホテルに着くまでドキドキであった。事なきを得て安堵した。

17日は釜山経由で福岡国際空港に15時過ぎに着き解散となる。信州組は博多方面へ移動しごぼう天うどんを食したとラインが入った。

第9回山の日記念版画展

主催：日本山岳会北九州支部

- 1 と き：2025年8月4日(月)～9日(土)
10:00～16:30(最終日16:00まで)
- 2 ところ：ギャラリーカフェー 柳庵(Tel 093-372-8558)
北九州市門司区大里戸ノ上1-2-23
- 3 問合せ：丹下 洽 (Tel 090-3732-8843)

今回も版画のほか、水彩画や油絵を展示します。
どうぞお出かけください。

山行・行事のお知らせ

お願い 山行の申し込時に、会員番号、住所氏名年齢、血液型、加入保険、本人連絡先及び緊急連絡先をお知らせください。

—5月—

●初級岩登り教室

期 日 5月25日(日)
場 所 国見岩(皿倉山)
集 合 ケーブル駅駐車場 8時30分
国見岩 10時
行 程 国見岩 10:00→練習→14:00→駐車場
15:00(解散)
装 備 ヘルメット、ハーネス、カラビナ、スリ
ング、エイトカン又はATC、クライミ
ングシューズ、ビレー用手袋 ※装備につ
いてはご相談ください。
申込み 竹本正幸 Tel 090-6739-9251 (SMS)
✉takemoto.masayuki@white.plala.or.jp
締切り 5月20日(木)

—英彦山山開きのお知らせ—

日 時 令和7年5月25日(日)
場 所 英彦山奉幣殿
※申し込みは不要です。

—6月—

●第8回夏山フェスタ in 福岡 2025

期 日 6/28(土)12時～18時

6/29(日)10時～18時

会 場 電気ビル共創館(4階:みらいホール/3階会議室)

主 催 夏山フェスタ in 福岡 2025 実行委員会
公益社団法人全国山の日協議会

特別協力 公益社団法人日本山岳ガイド協会

協 力 日本山岳会福岡支部、日本山岳会北九州
支部、福岡県山岳スポーツクライミング連
盟、福岡県勤労者山岳連盟、全九州アルパ
インガイドクラブ、YAMAP、山學舎後 援 西日本新聞社、朝日新聞社、FM 福岡、
福岡県、福岡市

—7月—

●月例山行 夏山登山の準備は万全ですか？

～夏山訓練(九重を歩こう!)～

(日程、内容が変更になりました)

期 日 7月6日(日)

場 所 九重

集 合 牧ノ戸峠駐車場(北九州からの乗合可)

行 程 7時間程度の周回を考えています。

問合せ・申込み 町元里香

TEL090-9572-6939

✉yunae.runa@gmail.com

締切り 6月8日(日)

※ 集合時刻未定。前泊テント泊も考えているた
め締め切りを早目にしました。

—8月—

●初級沢登り

期 日 8月31日(日)

場 所 嘉麻市周辺の沢

集 合 決まり次第お知らせします。

装 備 日帰り登山装備、沢靴、ヘルメット

※装備についてはご相談ください。

申込み 竹本正幸 TEL090-6739-9251(SMS)

✉takemoto.masayuki@white.plala.or.jp

締切り 8月21日(木)

—9月—

●九州5支部懇談会「熊本」

期 日 9月20日(土)～21日(日)

宿 泊 阿蘇プラザホテル

参加費 19,000円

会 議 阿蘇草原保全活動センター

テーマ…九州各支部の古道調査発表

21日は登山コースまたは阿蘇観光コース

申込み 事務局 清家幸三

✉qqmn2kd9k@fuga.ocn.ne.jp

TEL090-8664-4411

その他 詳細は決定次第連絡します。

●月例山行 宝満山 窟 巡り

期 日 9月27日(土)

集 合 竈門神社第3駐車場 7時30分

コース 竈門神社→正面登山道→女道→福城窟→
法城窟→剣窟→普池ノ窟→釜蓋窟→宝満山→羅
漢道→伝教大師窟→正面登山道→竈門神社
(所要時間8時間程度)

申込み 三浦利夫

TEL090-2850-6020(SMS)

✉homan.miura@gmail.com

締切り 9月14日(土)

—10月—

●自然環境保全事業

平尾台のセイタカアワダチソウ除去作業

期 日 10月4日(土)

集 合 茶が床駐車場 8時00分

行 程 茶が床→岩山→茶が床 岩山付近で実施。
午前2時間、午後1時間の作業。

多くの方の参加をお願いします。

申込み 横山秀司 TEL090-9609-7721

✉Yoko-hideji@ab.auone-net.jp

締切り 9月25日(木)

●月例山行 秋のテント泊

～烏ヶ山・甲ヶ山・矢筈ヶ山～

期 日 10月11日(土)～12日(日)

場 所 鳥取大山

集 合 小倉南区文化記念公園駐車場

行 程

10/11(土) カーラ谷登山口～烏ヶ山～新
小屋峠～鏡ヶ成(行程5時間 岩場あり)10/12(日) 香取登山口～甲ヶ山～矢筈
ヶ山～大休峠～香取登山口(行程7時間 岩
場あり)

10/13(月祝) 予備日

宿 泊 休暇村奥大山(テント泊)

問合せ・申込み 町元里香 TEL090-9572-6939

✉yunae.runa@gmail.com

リーダー 安藤 匡

締切り 9月7日(日)

※テント泊、岩場登山のため事前に参加者で打ち
合わせをし、皆で力を合わせて楽しい登山にし
たいと考えています。

●模有恒碑前祭

期 日 10月19日(日)

場 所 風師山風頭

集 合 門司港駅 8時00分

食事会 12時00分より 場所未定

申込み 総務委員会 大山時彦

TEL090-3609-6102

✉ooyamagumi717@gmail.com

締切り 令和7年9月10日

●全国支部懇談会

期 日 10月25日(土)~26日(日)

場 所 大阪ガーデンパレス

参加費 25,000円

記念山行「箕面の滝と東海道自然歩道(藤尾寺)まで」

申込み 事務局 清家幸三

✉qqmn2kd9k@fuga.ocn.ne.jp

TEL090-8664-4411

その他 詳細は決定次第連絡します。

キナバル山とその花々(写真 町元里香)



ラフレシア

シーマ(ツバキ科)

初級登山塾のご案内

●第1回登山塾 5月18日(日)

場 所 支部ルーム

時 間 9時~12時

内 容 オリエンテーション、計画書、登山装備

申込み 5月10日まで(開催前日まで受け付けます)

●第2回登山塾 6月22日(日)

場 所 平尾台

集 合 吹上峠 9時

内 容 登山アプリと読図の基本、楽な歩き方

装 備 日帰り登山装備、地図、コンパス

申込み 6月12日(木)まで

●第3回登山塾 9月28日(日)

場 所 岳減鬼山

集 合 英彦山大権現神社手前の駐車場 9時

内 容 栄養と水分補給、ツェルト、テント設営、低体温症の対策

装 備 日帰り登山装備、ツェルト、テント(持っている方)

申込み 9月18日(木)まで

○参加費 500円/1回

申込み先 竹本正幸 TEL090-6739-9251

町元里香 TEL090-9572-6939

いずれも(SMS)で

ーポレポレ会山行ー

●大海山(324㍎ 山口市)

周防灘、北九州の展望

期 日 5月17日(土)

集 合 電車利用 JR新山口駅新幹線口 9時
車利用 千防川砂防公園駐車場 9時
30分

行 程 公園駐車場(9:30)→尾根上展望所→大海山山頂(昼食)→公園駐車場(13:30)

東コースより自然散策コース下山

*山頂より中岳~勘十郎岳コース有り

申込み 丹下洽 TEL090-3732-8843

締切り 5月3日(土祝)

●岳切溪谷 渓流歩きを楽しもう!

期 日 7月19日(土)

集 合 道の駅おこしかけ 9時

行 程 おこしかけ(9:10)→岳切溪谷
(10:10 渓流歩き)12時発 途中で昼食(会食)
の後 近在散策(検討中)→道の駅おこしかけ
(15:00)

申込み 丹下洽 TEL090-3732-8843

締切り 7月5日(土)

その他 渓流歩きに適した履物

●天山(1046㍎)と吉野ケ里遺跡

大展望と歴史を楽しむ バスハイク

期 日 9月28日(日)

集 合 JR 小倉駅北口KMMビル前 7時15分
行 程 小倉駅(7:20)→多久IC→天山駐車場
(9:30)→天山山頂(11:00 休息昼食)→駐車
場(12:30)→吉野ケ里遺跡(13:00~15:30)
→小倉駅北口(17:30)

申込み 丹下洽 TEL090-3734-8843

締切り 9月14日(日)

費 用 約5000円

バス定員 9名



ヤマボウシ (写真 橋川潤)

令和7年度 行事・月例山行計画

※赤字:変更になりました。

月	日	行事・山行	担当	内 容	実施人数
4	13日(日)	月例山行	山行委員会	裏英彦山ロング周回コース	13人
	19日(土)	第26回通常総会・懇親会	支部行事	毎日新聞会館、コール天	23人
	24日(木)～27日(日)	国東半島 山岳古道集中山行	本部行事	両子山までABCの3コース。26日に懇親会	5人
5	9日(金)～12日(月)	月例山行	山行委員会	四国遠征 岩稜と花の赤石山系	10人
	17日(土)	自然環境保全事業	横山	希少植物・ムラサキの監視活動、平尾台	
	17日(土)	ポレポレ	縄田	大海山	
	18日(日)	第1回登山塾	竹本	オリエンテーション、山行計画書、登山装備、 ルーム	
	25日(日)	岩登り	山行委員会	国見岩または陶が岳	
6	7日(土)	自然環境保全事業	赤瀬	森林保全巡視活動 笠置山	
	15日(日)	月例山行	山行委員会	ササユリの筋ヶ岳、弟見山	
	22日(日)	第2回登山塾	竹本	登山アプリと読図の基本、楽な歩き方、 平尾台	
	28日(土)～29日(日)	夏山フェスタin福岡	支部行事		
7	6日(日)	月例山行	山行委員会	夏山訓練(九重を歩こう！)	
	19日(土)	ポレポレ	丹下	岳切溪谷他	
8	31日(日)	沢登り	山行委員会	未定	
9	20日(土)～21日(日)	九州5支部懇	支部行事	熊本支部	
	27日(土)	月例山行	山行委員会	宝満山(窟巡り)	
	28日(日)	ポレポレ	縄田	天山、吉野ヶ里遺跡 バスハイク	
	28日(日)	第3回登山塾	竹本	栄養と水分補給、熱中症、低体温症対策とビバーク、テント設営他	
10	4日(土)	自然環境保全事業	横山	セйкаアワダチソウ除去作業、平尾台	
	※11日(土)～12日(日)	月例山行	山行委員会	テント泊、鳥取大山(烏ヶ山)	
	19日(日)	横有恒碑前祭	支部行事	風師山	
	25日(土)～26日(日)	全国支部懇	本部行事	関西支部	
11	1日(土)	ポレポレ	原	ダルマ菊、角島	
	※2日(日)	山の日記念登山	横山	自然学習登山 平尾台	
	3日(月)～4日(火)	宮崎ウェストン祭	支部行事	高千穂町	
	8日(土)～9日(日)	4支部交流会	支部行事	広島・山陰・四国の支部交流会	
	15日(土)	自然環境保全事業	横山	森林保全巡視活動 三郡山	
	16日(日)	第4回登山塾	竹本	気象遭難をなくすための観天望気、 福智山	
	30日(日)	月例山行	山行委員会	油山縦走	
12	6日(土)～7日(日)	年次晩餐会	本部行事		
	13日(土)	忘年登山・忘年の集い	支部行事	足立山・戸ノ上山 コール天	
1	11日(土)	ポレポレ	縄田	山口市三社参り	
	17日(土)～18日(日)	月例山行	山行委員会	新年登山、雲仙岳	
	25日(日)	第5回登山塾	竹本	初級雪山登山、深入山又は吉和冠山	
2	28日(土)～3月1日(日)	月例山行	山行委員会	伯耆大山	
3	7日(土)～8日(日)	第6回登山塾	竹本	テント泊、九重山	
	14日(土)	山の自然学習登山	横山	Geoトレッキング 立花山	
	20日(金)	ポレポレ	縄田	ゲンカイツツジ、岩屋神社	
	28日(土)	月例山行	山行委員会	大師山～白滝山周回	

※各行事の担当者の連絡先については事務局の清家幸三までお尋ねください。

メールアドレス qqmn2kd9k@fuga.ocn.ne.jp 携帯電話 090-8664-4411

令和 6 年度 臨時役員会議事録 事務局 清家幸三

日 時 令和 6 年 12 月 20 日（金）13 時 00 分～
場 所 ルーム
出席者 竹本 榊 馬場 日向 橋川 町元
清家
欠席者 横山 縄田

I 支部長挨拶

本年度、無事故で行事を遂行してきたことへのお礼と来年度の行事の計画をこれから立て、体制も含めて 1 月末には作成していく。

II 議題

1 令和 7 年度の体制について

新会員の大山さん、安藤さん、将口さん、久保さん、堀内さんに役員を要請する。

2 令和 6 年度の月例山行の計画表

別紙明細とおり

3 令和 7 年度の支部行事表 上記 2 と同じ

4 ヤマテン天気ライブの開催について

検討したが、北九州支部では開催しないことに決定。

III 報告、連絡事項

1 晩餐会の報告

2 支部報の発送

年明けの 1 月 9 日 11 時ルームにて

3 会員、支部友数の変遷、推移について

別途資料を支部長が作成。

4 12 月 19 日の支部連絡会議の報告

本部の赤字対策について現在発行されている「山」は経費削減のために隔月発行にする意見が多数を占めた。

次に晩餐会の会場の見直し案があり、来年は国際シンポジウムもあり、開催期間も 4 日間になる。

5 その他の状況報告

- ・丹下さんが 1 月よりルーム当番を辞退。
- ・令和 7 年度の仮称「登山塾」は年 6 回を実施する。
- ・令和 7 年度の月例山行のリーダーは、新しい人が担当する。

IV その他

1 次回役員会の日時

1 月 9 日 18 時 30 分時から リモート会議



英彦山（版画 伊藤久次郎）

令和 6 年度 第 6 回役員会議事録 事務局 清家幸三

日 時 令和 7 年 1 月 9 日（木）18 時 00 分～
場 所 リモート会議
出席者 竹本 榊 横山 町元 橋川 縄田
清家 馬場 日向
欠席者 なし

I 支部長挨拶

これまで山行行事が無事故で安全な登山を実施してきたことは支部会員の皆様の協力の結果だと思います。引き続きお願いします。

II 議題

1 令和 7 年度の方針と体制について

総務委員会、交流委員会、ホームページを含めたデジタル委員会を設置したい。特に新入会員の活躍を期待。

2 令和 7 年度事業計画

(1) 令和 7 年度総会・懇親会

(2) 令和 7 年度月例山行計画の実施

月一回のペース

(3) 九州 5 支部懇談会

9 月 20 日～21 日 熊本支部担当

(4) 4 支部交流会（北九支部担当）

11 月 8 日～9 日の開催日は連絡済み

(5) 山の日家族登山

9 月 15 日平尾台にて自然学習登山を実施

(6) 全国支部懇談会

10 月 25 日～26 日 関西支部担当

(7) 模有恒碑前祭

10 月 19 日 風師山にて

(8) 自然保護事業

(9) 公益事業

公益社団法人として公益事業を増やすことが求められている

(10) 宮崎ウェストン祭

11 月 3 日～4 日 高千穂町にて

(11) 山塾の開催（年 6 回）

別紙初級登山塾スケジュール（案）参照

(12) ルーム当番について

丹下さんが運転免許証返納のため辞退。各自の交代で引継ぐ。

(13) 登山に関する相談コーナーについて

別添ルーム貼り紙参照

III その他

1 会員募集の対策

会員の減少傾向を増加に転じる施策として 120 周年の記念事業を機会に報道機関への入会案内を投稿する。

2 次回役員会の日程

3 月 13 日 13 時 00 分 ルームにて

令和 6 年度 第 7 回役員会議議事録 事務局 清家幸三

日 時 令和 7 年 3 月 13 日（木）13 時 00 分～

場 所 ルーム

出席者 竹本 榊 横山 町元 縄田 橋川

馬場 日向 清家

欠席者 なし

I 支部長挨拶

本年度も残りわずかになり、この最後の役員会では 4 月の定例総会の資料をまとめ、来年度の事業計画を立てて行きたい。

II 議題

1 第 26 回通常総会、懇親会の準備

(1) 事務局からの第 26 回定例総会資料のチェック

(2) 4 月 19 日までのスケジュールと役割分担

- ・3 月 13 日 総会資料のチェック。訂正後、印刷関連を手配（納期 10 日間）。

- ・3 月 26 日 総会・懇親会の案内状、総会資料、返信はがき、封筒、会費納入用紙の取りまとめをする。

- ・3 月 28 日 総会資料の発送。4 月 10 日返信はがきの締め切り。

(3) 4 月 19 日にルームに 12 時 30 分集合。
当日の役割分担の確認。

2 9 月 15 日の山の日記念登山の取り組みについて

(1) 一般参加者の応募と方法

市広報、その他登山のグループ、HP 等。

(2) 予算及び内容

場所は平尾台にて自然学習として開催する。

3 4 支部交流会

開催場所の決定と 3 支部へ月末日までに通知。

4 国東半島山岳古道集中山行への参加について数回にわたりメールにて通知をするが応募数は 4 人。

III 報告、連絡事項

1 会員異動について

森義雄さん、松本重裕さんが 3 月末日で退会。

2 会費納入状況

3 支部便りの原稿の締め切り

3 月 31 日

4 財務状況

会計の縄田さんより報告

5 入会案内について

馬場さんより報道関係者への掲載の報告。

IV その他

1 感謝状の規程について

会の内規として決定。総会にて表彰する。

編集後記

今年は各地で林野火災が発生した。大きな経済的損失である。一方、日本では昔から原野の火入れや焼き畑をしてきた地域がある。いずれも火によって植生の遷移を止め、草原を維持し林を裸地にして農畜産業を営んできた。

人間以外にも火を利用する生き物がいる。遠くのオーストラリアでは昔から各所で毎年のように山火が発生している。自然発火だそうだが、その植物は煙や熱によって種子の発芽を促進する戦略を長年かけて獲得してきた。万国共通の常識はなかなかないものだ。（J.H.）